

08

海外勤務の間だけ、リースバック。 将来を見越した有効活用術。

CENTURY 21

お客様PROFILE

●職業／自営業 ●家族／夫婦2人 ●物件／マンション



急に決まった海外勤務。 さて、マンションをどうする？

自宅を離れることに心残りがありました。なにせ、夫婦共にたいへん気に入っている購入したリノベーションマンション。ずっと住み続けていたいというのが私たちの本音です。しかし仕事の都合で3年間の海外駐在勤務が決まり、日本に戻ってくるのは半年に一回程度。そのため住まいを「空家にする」、「賃貸に出す」、「売却する」といった選択を迫られました。また海外に行くにあたり、気になっていたのは住宅ローンの残債です。数百万円程度ではありますが、完済してすっきりとした気持ちで日本を離れたいという想いがありました。しかし銀行の融資には時間がかかり、間に合いそうもない。そういう事情から浮上したのが「リースバック」という新たな選択肢でした。

現金化に時間がかからず、 買い戻しができる魅力。

愛着を持って暮らしていたので家を手放すことには迷いがありました。ですが私たちにとって「リースバック」の大きなメリットは、現金化に時間がかかるないことと、将来買い戻しもできること。戻ってきたら自分たちが再び住むという選択肢が可能になることでした。

将来買い戻しがしやすい金額を設定してもらうなど細やかな配慮もして頂き、おかげさまで海外に行く前に手元に資金を残すことができて、向こうでも不安のない落ち着いた生活が営めそうです。



- 住宅ローンの残債を整理したい。
- 売却した自宅を将来的に買い戻したい。
- 不動産をできるだけ素早く現金化したい。
- ゆとりあるライフプランを立てたい。